

（件名）黒竜江省ハルビンの百貨店で、今年も北海道フェアを開催

1. フェア概要

北海道は、黒竜江省ハルビン市内の松雷百貨店で、道産食品の販売とアイヌ文化等をPRする北海道フェアを実施しました。北海道と黒竜江省は、今年、友好提携35周年を迎えることから、これを記念して、知事及び同省長からの祝意メッセージを会場及びオンラインショップに掲載しました。また、トップセールスの一つとして、鈴木知事の立ち姿の等身大パネルを会場に設置しました。

- ・日程：3月5日（金）～14日（日）
- ・場所：松雷百貨店南崗店道産食品特設コーナー及びオンラインショップ
- ・品目：道産米、調味料、菓子など、道内企業12社の約50品目を出品



地下1階のフェア会場



鈴木知事の等身大パネル



ロイズの臨時店舗（フェアに合わせて出店）

2. オンラインショップでのライブ中継

来店されたお客様だけでなく、より多くの中国の消費者に道産食品の魅力をPRするため、3月6日、同百貨店のオンラインショップ（ウェブサイト）の中に設置されたライブ販売チャンネルを活用して、札幌市内のキッチン付きオフィスから、食品メーカーの担当者自ら、生産者のこだわりや商品の食べ方を紹介するライブ中継を実施しました。道産米の炊き方、おにぎりの握り方、豚丼のタレを使った調理方法などを紹介しながら、気に入った商品は、そのままオンラインショップで購入いただくよう誘導しました。



オンラインショップ内の北海道フェア特設ページ



ライブ中継と商品販売ページ

3. まとめ

今回は、開催直前に新型コロナウイルスの感染がハルビン市内で拡大した影響から、規模は限定的となりましたが、百貨店側の熱意もあり、食品売場及びオンラインでの販売が実現しました。チョコレート、ポテトチップスなどの売り上げが好調でした。

同百貨店での北海道産食品の販売は今回で4年連続となり、ハルビン市民には、定例のイベントとして受け入れられつつあります。今後は、継続的な販売の促進に向け、引き続き店側との協議を進めてまいります。

（件名）遼寧省瀋陽の関係機関を訪問し、意見交換を実施

遼寧省は、黒竜江省・吉林省と同様に、1989年に北海道との経済交流の促進に向けた覚書を締結し、様々な経済交流を続けております。また、遼寧省瀋陽市は、1980年の札幌市との友好都市提携に基づき、芸術・文化、経済、スポーツなど幅広い分野で交流を進め、相互理解と友好を深めています。

報告者（早田）は、3月24～26日にかけて、遼寧省瀋陽市を訪問し、同市内に駐在員事務所を構える北海道銀行の全面的な協力の下、遼寧省政府、瀋陽市政府の各行政機関や友好団体、及び道内企業とのビジネス交流を希望する現地企業等を訪問しました。

（訪問先）遼寧省外事弁公室、遼寧省商務庁、遼寧省対外友好協会、遼寧省中日友好協会、瀋陽市外事弁公室、瀋陽市商務局、中国国際貿易促進委員会瀋陽市分会、J-LIFE 遼寧傑生活実業集団（建材・食品等）、遼寧易発成林城市建设工程有限公司（街路整備等）、日中経済協会瀋陽事務所、北海道銀行瀋陽駐在員事務所



遼寧省人民対外友好協会 李承志副会長
（右から3人目）



遼寧省外事弁公室 胡元元処長
（右から2人目）



瀋陽市外事弁公室 王晶莹主任
（右から3人目）

遼寧省政府及び瀋陽市政府の関係者からは、北海道民や企業との交流を拡大したいというコメントを多数いただきました。また、現地企業からは、環境、土木分野における技術交流・商談へのニーズ、道産食品の販売拡大への提案などがありました。

当事務所としては、こうした現地の提案等を道本庁や道内企業に伝え、双方の調整を行い、今後の交流を促進するとともに、中国各地における北海道のネットワークの構築を進めてまいります。